

英語学科 教員養成に係る教育の質向上に係る取り組みに関すること

本学では、以下のような取り組みを行っています。

教職事前・事後の指導授業外プログラム

英語学科では、「事前及び事後の指導」として、教職課程を履修する1年次から4年次までの全ての学生に参加を求めて、次のようなプログラムを提供しています。その内容は、道德教育の指導法、3年生による模擬授業、英語教諭として活躍中の卒業生や指導的立場で活動中の管理職の先生方による現場からの実践報告、教育実習を終えた4年生による実習報告、採用試験に向けた準備と方法、特別支援学校の教育内容の紹介などが含まれています。このプログラムに参加することで、意識の向上や新たな気づきが促され、教職に特化した学習や技能の向上へとつながっています。

学校ボランティア

学校ボランティアの活動は、現在、二つの中学校で行われており、活動の内容は大きく分けて二つあります。一つは、授業の補助をすることです。通常の授業に参加し、先生方の指導の補助を行っています。目の前の生徒にとって適切な指導ができるよう、指導補助を行うたびに、現場の先生方と話し合っています。もう一つは、放課後に行われているボランティア学習支援活動です。主に授業の理解を深めるための支援を行っています。

採用試験対策

学生の試験対策の進捗状況を確認しながら、必要に応じて、教職教養や専門教養については個人的なアドバイス、小論文については、(電子メールで)添削を行うなどの指導体制を整えています。個人面接に関しても、過去問題集を参考にして、予想される質問についての指導体制を取っています。

卒業生に対する取り組み

本学学生対象のプログラムへの参加を呼びかけたり、学外で実施される教職に関するさまざまな講演会やワークショップ等の情報を提供したりしています。